

13 愛知教育大学 初等教育教員養成課程 家庭選修合格 / 30回生 2011年(平成22年度)卒

私は文Ⅱに入りました。文Ⅱに入った第一の理由は親が勧めたからでした。第二の理由は1年のときに部活をやめてしまい、2年から勉強に力を入れてきたので、どうせなら上の大学へ行きたいと思ったからです。今思うと、2年からでも勉強を頑張り始めて本当に良かったと思います。自分が行きたい学科が決まったのは3年になってからでした。

1年のときは美容師になりたいと担任の先生に言っていたし、2年になってからの模試で志望大学を書くときもわずかに知っていた私大数校を書くだけでした。学科についても心理学科くらいしか興味がなく、それだけを書いていました。3年になり朝早く来て進路指導室前で勉強を始めると、たくさんの大学の資料が目に入るようになりました。そして保育士関係の広告を見つけ、保育士の資格が取れる大学も探すようになり、保育士になりたいと思うようになりました。朝や放課など少し時間が空いているときには進路指導室前に行き、資料を眺めるだけでもどんな大学があるか、どんな学部・学科があるのか知ることができて良いと思います。

文Ⅱに入って良かったと思ったのは、周りの人が成績が良いので先生がいなくても分からないところをすぐに聞けるという点と、テストの順位も文Ⅱだけで出るので赤点にならないように今までよりもっと必死に勉強するようになった点です。私は周りに影響されやすく、朝から黙々と勉強している環境にいることはすごく刺激になりました。3年になるまでは専門学校、私大しか考えてなかった私が、国公立大学を目指そうと思えたのは周りの友達の影響が大きいです。

そして毎日、新聞に目を通しておくが良いと思います。私はセンター後受ける国公立大学を変更し、受験科目が総合問題になりました。それから総合問題への対策として小論文を書く練習と新聞を読むことを始めたので、対策が十分にはできませんでした。受験科目を急に変更しても大丈夫のように、5教科全部をまんべんなく勉強して、時事問題にも対処できるように新聞などを通して現代社会について知っておくと万全だと思います。

14 三重県立看護大学 看護学部 看護学科合格 / 30回生 2011年(平成22年度)卒

私が看護師を目指すようになったのは中学校のときからです。

しかし、そのために具体的にどんなことをやればいいのかは、高校入学後もあまり分かりませんでした。そんな私が受験が終わった今、看護系学校を目指す人に、やっておくとよかった、と感じることを書きたいと思います。

まず、普段から学校での予習・復習・課題をきちんとこなすことです。これは、1年生からやっておくべきです。私の場合は、特に英語を頑張りました。『シス単』は、特に力を入れてボロボロにするまでやりました。テストのたびに、単語カードを作り、分からない単語は付箋を貼って新出単語はラインを引くというのを何回も繰り返しました。

次に、日頃から医療系はもちろん福祉系などの様々な分野のニュースを分析し、自分の意見を考えることです。これは面接、小論文どちらにも使えると思うので、ノートを1冊作っても良いと思います。

さらに、書く力をつけることです。私は前期で小論文がありました。そのために1ヶ月間、毎日先生に添削してもらって指導を受けていました。それでも、日頃から文を書くことに慣れておらず、さらに語彙力不足で思うように書けるようになれませんでした。なので、私のように書くことに慣れていない人は、まず新聞などを読み、語彙のインプットを行うと良いと思います。

最後に、私は後期を受けて合格することができました。後期まで受けることは少し辛いことがあったけど、諦めなくて良かったと本当に思っています。先生たちを信じてついて行って下さい。そして、最後まで進路実現に向けて頑張ってください。